

20063

GAFCHROMIC Film による線量管理の検討

目的】当院ではここ数年で PCI の件数が飛躍的に増加している。それに伴い検査、治療時の線量管理もより詳細に記録しなければならない。装置の更改により装置側で簡易的な線量分布が割合ではあるが表示されるようになった。今回は診断領域の線量にも対応している半切サイズの GAFCHROMIC Film を用いて、装置側の線量分布と比較し、線量管理に適切であるかを検討した。同時に GAFCHROMIC Film をより簡便に取り扱えるよう重ねて検討した。**【方法】**最初に GAFCHROMIC Film (XR-RV3) の測定における基礎検討を行う。次に GAFCHROMIC Film が汎用の PC、アプリケーションとスキャナーで解析が可能かであるかを、放射線治療で使用する専用のアプリケーションと比較し検討する。最後に PCI における装置側の線量分布と GAFCHROMIC Film の分布を比較検討する。**【結果】**GAFCHROMIC Film の基礎検討により正確にデータを収集することができた。また、汎用 PC とアプリケーションでも簡便に測定が行えることが確認できた。線量分布については装置側が割合のみの表示であるため、GAFCHROMIC Film の方がより正確な線量分布を示していた。**【結論】**GAFCHROMIC Film は取り扱いも簡便であり、線量管理を行うには有用である。また、術者に線量分布を可視化して提示することにより、被ばく低減の啓発にも有用であった。